

新茶摘み体験記

所沢の自然と農業サークル

25 期 浪間 扶美子

お茶摘みをしました

4 月 24 日、27 日の 2 日間、北秋津の「政貴増田園」でサークル初のお茶摘みボランティアをしました。両日とも好天に恵まれ、太陽の陽射しがまぶしい日でした。幸いお茶畑は茶葉への直射日光を避けるため遮光ネットが張られているので丁度良い加減でした。24 日は 23 名、27 日はカルチャーパークの活動日と重なり 14 名の参加でした。



所沢駅東口を陸橋通りに向かうと T 字の東口駅入り口交差点が有ります。突き当りに駐車場があり、そこに「政貴増田園」の看板が立っていますが、駐車場と隣にある茶畑、そして駅から見た交差点左角の茶畑は「政貴増田園」所有です。そして店舗・加工所は陸橋通りを東京方面に行くと、北秋津交差点の数百メートル位手前の右側に有り道路を挟んだ店舗前にも茶畑が有ります。

今回、茶摘みをした場所は店舗前と駅入り口左角の茶畑です。事前に受講生の時の「日本の農業」の講師淵野先生と代表者 5 人が摘み方の説明と実施指導を受けました。初日は店舗前の畑で摘みましたが、この茶葉の木は「やぶきた」と言い、「全国新茶品評会」に出品するお茶に仕上げられます。実際摘み始めると「一芯二葉」「4cm 以内（手掌を横にして指 4 本の幅）」の長さ以内に摘むのは、正に「言うは易し行は難し」でした。一芯二葉が中々見つけられないのです。芯に 1 枚目の葉がまだ伸びなく巻き付いているので二葉で摘むと「一芯三葉」で長くなり茎が入ってしまうのです。それに茶葉も其々個性が有り分かり易いのもあれば分かり難いものもあります。あちこちで分らない、難しい、これ大丈夫等の声が聞こえていました。社長は兎に角「短くても長くても茎が入っても駄目」と口うるさく言いました。でも摘んでいる間に段々慣れて何とか摘めるようになりました。

2 日目は駅入り口交差点左角の畑で、前半は初日と同じ摘み方なので少し慣れ「もうベテランだ」と褒められました。後半は「県新茶品評会」に出品する茶葉でした。少し茶の木の丈が低いため皆少し腰を屈める姿勢になり「腰が痛い」という声を度々耳にしました。この茶葉の摘み方は新芽の下を「一葉を残す」摘みかたでした。社長は「こっちは県内で 1 等目標だから何も考えず新芽をただ摘めば良い」というのですが私は茎が入って長いと注意されました。それでも、摘んでいる間にコツを掴めてきて無事 2 日間が終わりました。



た。

これまでの経緯

今、駅入り口交差点の所の駐車場と茶畑そして畑等を含め、住宅を除く奥一帯は「北秋津・上安松区画整理事業」の造成工事が 10 年計画で 2 年前から始められ進行しています。増田さんのこの土地も道路が入り

分断される予定です。この一帯は林が多く「オオタカ」が生息しているので保全されて来て林以外は一面畑でした。

私は以前より駅が近いこの土地に地域の人や都会の人も気軽に「農」にかかわれる畑や貸農園などのある「農園・公園」を作ったら、自然を求める人で活気づくのではと考えていました。「西口で楽しんだ後は、東口で自然を感じよう！」と・・・・・・・・

生産緑地の期限が切れる 2022 年問題を含めて今後を検討している農家さんの協力を得たいと探しましたが、全く手掛かりは有りませんでした。そんな時、増田さんは「このみどりのオアシスを自然のままで残したい、ここでお茶製造を続けたい」という理由で区画整理に反対していた事を知りました。

私の思いに共感してくれていた淵野先生と共に増田さんを訪問させて頂きました。その時、増田さんは「道路が入る予定の畑の残った所で『茶畑を続け加工所を作りたい』所沢の特徴である『自園・自製・自販』を後世に農業遺産として残したいが農業振興課で生産緑地内には加工所は出来ないと言われ困っている。」又、「『所沢の名人に聞くでも講演したが所沢のお茶を知らない人が増えている。お茶摘みをする地域の人もなく高齢化しているのもっと若い人に所沢のお茶を知ってもらおう為にも摘んで欲しい』と語っていました。

今、淵野先生は加工所の件を調べて下さっていますが中々難しいようです。このような経緯から丁度お茶摘みの時期が近い事もありお茶摘みのお手伝いから進めたいと、淵野先生、米山さん、稲村代表に相談しました。結果、サークルの賛同を得て今回のお茶摘みの運びとなりました。両日ともサークルの協力及び関連グループ、食とこサークルなどから沢山の参加を頂き無事に終わる



ことが出来ました。今はどんなお茶が出来上がるか、農林大臣賞が取れるだろうかと心配でもありとても待ち遠しいです。皆様のご協力本当に有難うございました感謝の気持ちで一杯です。このお茶摘みは今後も続けて行きたいと考えていますので、何方でも是非参加して頂けると大変嬉しいです。(浪間 記)